

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

瀬戸信用金庫（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

A－
安定的

■格付事由

- (1) 愛知県瀬戸市に本店を置く資金量 2.2 兆円の信用金庫。瀬戸市内において高い預貸金シェアを有するほか、名古屋市およびその周辺でも充実した店舗網を持つ。格付には、営業基盤の厚みや、良好な資本充実度および貸出資産の質などを反映している。金利環境の変化などにより基礎的な収益力の低下が続いており、今後の動向を見守っていく。
- (2) 収益力は格付対比で低い。インフレの進行や国内金利上昇といった環境下で経費や預金利息が増加しており、25/3 期のコア業務純益は前期比 2 割の減益となった。ROA（コア業務純益ベース）でみても、0.2%弱まで低下した。固定金利の運用資産の割合が高く、市場金利の上昇が短期的に収益の下押し要因となっている。中期的には運用サイドの利回り上昇により利益水準の回復が見込まれ、その程度や時間軸を確認していく。
- (3) 貸出資産の質は良好である。金融再生法開示債権比率は 2%台半ばと抑制された水準にある。小口に分散された貸出ポートフォリオや、担保・保証による厚い保全により、与信費用は低位で推移している。与信費用は今後もコア業務純益で十分に吸収可能な範囲に収まると JCR は考えている。
- (4) 有価証券運用では相応のリスク量を抱えている。預証率が約 4 割と高く、ポートフォリオの多くを円建債券が占めることから、他の信用金庫同様に円金利のリスク量は資本対比で大きい。外貨金利や株式などのリスクを内包する商品への投資額もここ数年で拡大してきた。25 年 9 月末のその他有価証券の評価損はコア資本の約 2 割に相当する規模となっており、財務面の余裕度を一定程度下押ししている。
- (5) 資本充実度は良好である。25 年 9 月末の調整後単体コア資本比率は 11%台半ばと、前年同月末比おおむね横ばいとなった。内部留保の蓄積でコア資本が増加し、バーゼルⅢ最終化に伴いリスクアセットが減少した一方、その他有価証券評価損の拡大が影響した。今後も有価証券の時価変動の影響を受ける点などに注意が必要である。

（担当）大石 剛・高澤 俊太郎

■格付対象

発行体：瀬戸信用金庫

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A－	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年1月22日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：大石 剛
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「銀行等」（2021年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 瀬戸信用金庫
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル